





## SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 3 月 13 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
下水道工事を中心に豊富な実績と経験を活かし、子供たちの未来のために、安心、安全、そして環境にやさしい街づくりに貢献しています。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
持続可能なインフラ整備において、質・精度の高い工事を行っていく。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	通常の健診診断に加え、現場で働く従業員は「じん肺健診」「ヒューム健診」を受診し、従業員の健康維持に努める。	現場で働く従業員の健康診断の際に「じん肺健診」「ヒューム健診」を受診	全社員の健康診断を年一回実施 現場で働く従業員は「じん肺健診」「ヒューム健診」を受診
	従業員全員が作業に関わらず同じ仕事ができるよう、資格取得の支援を行うとともに現場でのOJTを実施する。講習会への積極的な参加を促し、技術向上の支援を行う。	資格取得のために参考書を購入に加えOJTを実施 講習会に参加し従業員の資格取得の意識啓発を図る	従業員全員が作業に関わらず同じ仕事ができるよう、資格取得の支援を行うとともに現場でのOJTを実施する。資格を取得する従業員を増やし会社を活性化させる。
	下水管の立坑を設置する際の誤差削減、精度向上を図るための技術を確立する。 立坑圧入機における最新技術の導入。	下水管の立坑を設置する際の誤差削減、精度向上を図るための技術を磨いた。 立坑圧入機における最新技術の導入。	下水管の立坑を設置する際の誤差削減、精度向上を図るための技術を確立する。
	仮設ケーシングや覆工板等の再利用可能な部材について、使用後は毎回修復、修繕を行い寿命の長期化を図る。	仮設ケーシングや覆工板の再利用可能な部材について、使用後の修復改善を行った。	仮設ケーシングや覆工板等の再利用可能な部材について、使用後は毎回修復、修繕を行い寿命の長期化を図る。備品購入の際にリユースを意識する。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	株式会社 新東工業	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	2. 建設業	
3	従業員（構成員）数	48人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	川口 均
5	所 在 地	〒 424-0856	
		静岡県清水区上力町2-3	
6	ホームページURL	<a href="https://www.shintoukougyou.com/">https://www.shintoukougyou.com/</a>	